



こばやし たか ゆき

小林鷹之

からの手紙

衆議院議員
小林鷹之国政報告

Vol.60

討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉県花見川区・習志野市・八千代市)

kobayashi-takayuki.jp

info@kobayashi-takayuki.jp

twitter.com/kobahawk

www.facebook.com/hawk.kobayashi



国会活動

予算委員会理事として
総理等と議論

憲法審査会で緊急事態条項について意見陳述

検見川・真砂スマートイ
ンターチェンジ設置と検
見川立体事業を千葉市
と共に強力に推進

国政から牽引した道の駅広域
防災拠点化。八千代市発展の
好機。成功の可否は自治体の
熱量にかかっています。

地元小学生の国会見学
が再開。最優先で対応

朝食勉強会や語る会を開催

第16回飛鷹会朝食勉強会
の講師は小林健 三菱商事
株式会社相談役 (当時)

地元で明日の日本を語る会を開催
細野豪志議員によるエネルギーの講話

後援会に入会しませんか

会費 無料

- 各種行事のご案内
- ファックスマガジン、メールマガジンを配信

お申込み、お問い合わせは、電話(地元事務所)、
メールまたはホームページからお願いします。
(既に後援会会員の方でメールアドレスを未登録の方は、
地元事務所までご連絡下さい)

小林鷹之 Profile

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員4期目。経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)などを歴任。

地元事務所
〒276-0033
千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

テレビ出演や 国際会議での 講演等も増加

アジアビジネス
カウンシルで講演

報道ライブ
インサイドアウトに
鈴木一人東大教授と出演

BSテレ東
日経ニュースプラス9に出演

地元での国政報告会などの活動も全力で!
地元の行事も再開し、積極的に参加!

習志野市「名物」もちとサバ!

八千代市
合気道演武大会で挨拶

事務所も仲間に入れて頂き
ている八千代台東口商店街

朝の駅頭、街頭演説、国政報告会は続けています

「臨時国会を終えて」

令和4年9月28日に開会した臨時国会が69日間の審議を終えて12月10日に閉会し、引き続き、令和5年度予算の議論が進んでいます。鷹之からの手紙60号では私が予算委員会理事として審議を進めてきた物価高対策や憲法改正、衆議院小選挙区の区割り改定等について報告致します。

【補正予算が成立しました】

世界各国の景気回復、ウクライナ情勢、円安などを背景に物価が高騰しています。その緊急対応として、燃料代や電気・ガス料金の負担軽減策を盛り込んだ補正予算が12月2日に成立。予算委員会理事として予算審議が深まるよう尽力いたしました。応急処置ではありませんが、燃料代については石油元売りへの支援を通じてガソリン代を約30円程度、(標準世帯において)電気代は3,000円弱、ガス代は1,000円弱の負担軽減となります。

また、重要物資についての供給網(サプライチェーン)を強化する予算を盛り込みました。

令和5年度の税制改正では「成長への投資」ということで、少額投資非課税制度(NISA)の恒久化を図るほか、エコカー減税を含め、車体課税のあり方について議論されています。

私が担当大臣として成立させた「経済安全保障推進法」に基づき、半導体、電池、抗菌薬、レアアース、肥料、造船のコア部品、クラウドなどの安定供給を図る体制を整えます。特に半導体産業については、



経済安全保障本部の提言を作成し岸田総理と高市大臣に申入れ



TSMC誘致に続き、先日発表されたラピダス株式会社設立による日米連携の次世代半導体開発・量産を第二ステップ、さらにその先を見据えた、わが国の半導体産業再生に向けたロードマップを私自身も関与して作り上げました。わが国の経済成長を牽引する産業としても復活できるよう尽力していきます。

【憲法改正について】

私が委員を務める衆議院憲法審査会での議論が活発になってきました。わが国の憲法は、一言一句変わることなく施行から75年が経過しました。しかし、ウクライナ情勢やコロナ禍、そしてわが国近隣諸国の動向など、わが国内外の情勢は大きく変化し、多くの課題が突きつけられています。

その一つが、平時を前提とした統治機構では対処することが難しい非常事態に対応するための規定「緊急事態条項」です。例えば、緊急事態の発生と衆議院の任期満了が重なった場合、国会議員不在となり国家運営の機能が停止し、国民の生命財産を守ることが困難になります。このような事態を回避すべく、現在憲法審査会では、有事における議員の任期延長を含めた議論が進んでいます。

いかなる有事が生じたとしても、国民の命と暮らしを最大限守り切れる体制の整備は政治の責任です。法治国家だからこそ、事が起こってから場当たり的に対応するので

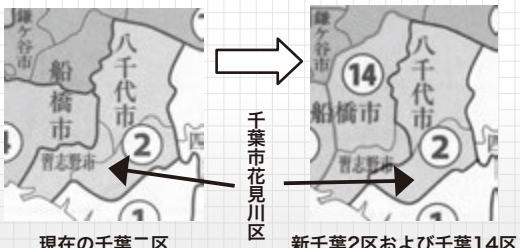


はなく、事前に政府の具体的な対応について立法府で合意し、憲法や法律に明記しておくことが重要です。

【小選挙区の区割り改定】

一票の格差の是正の観点から、この度、衆議院の選挙区割りの変更されます。いわゆる10増10減。人口の多い都市部の選挙区を増やし、人口の少ない地方の選挙区を減らすというものです。都市部と地方は互いに有機的に結合して存在しています。単純に人口のみで議員数が決まるとすれば、都市部にばかり議員が集中し、地方の声を代弁する議員は殆どいなくなるでしょう。私はそれが適切だとは思えません。また、都市部においても、今後、選挙のたびに選挙区が変わるといふ事態は避けるべきです。有権者と議員が時間をかけて醸成する信頼関係こそが政治には必要だというのが私の考えです。

なお、今回の改定で、私の選挙区(千葉2区)も分割されることとなります(図参照)。今後の選挙区は、党内調整を経て決まるので、まだ確定していませんが、分割決定という事態には断腸の思いです。ただし、これまでご指導、ご支援下さった多くの方々の思いに私自身「根っこ」があることは変わりませぬ。その「根っこ」を大切にしながら日本の再生のために頑張りますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



現在の千葉2区

新千葉2区および千葉14区



浄化槽議連、地産地消エネルギー議連の事務局長として申入れ

衆議院議員 小森鷹之

令和四年十二月吉日